

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL：054-641-3321

会長：松葉 隆夫 副会長：石垣 善康 幹事：増田 國衛 副幹事：酒向 謙次

第1843回

<ソング> 君が代・奉仕の理想

<ソングリーダー> 石割郁子君



2009-2010年度 RIテーマ

ロータリーの未来は
アナタの手の中に

ジョン・ケリー



寒梅

写真提供：鈴木舜光君

会長報告

松葉 隆夫君

本日は節分です。夕食に西南西の方向に向かい恵方巻を食すると運が良くなるとの事。皆様もぜひ食して下さい。

本日の理事会で、3月7日のIMに新人6名全員が参加をして下さるとの事、非常にうれしく思います。来年の3月6日には藤枝担当でIMを行います。その時の為にとの事、良かったです。又、阿井君にはバスを出して下さいとの事、重々有難く思います。

本日萩田君が入会して下さい、会員が1人増えました。宜しくお願い致します。

- 藤枝市暴力追放推進協議会より『暴力追放便り』が届いております。
- ロータリーの友事務所より、ロータリー手帳お買い上げのお願いが届いております。

入会式

本日、萩田君が入会されました。



理事会報告

増田 國衛君

- 2月3日のプログラムが承認されました。
- 次年度組織案(委員会編成)が承認されました。
- ハイチ地震の義援金は3万円拠出することに決まりました。
- 新会員オリエンテーション実施の具体案は青島克郎新会員担当リーダーに一任することになりました。(2月末～3月初に実施予定)
- IM出席者7名追加が承認されました。
- 次回理事会は3月3日(水)11時30分からと決まりました。

幹事報告

増田 國衛君

- 2010～2011年度 中山ガバナー(アメリカ・サンディエゴ)より『挨拶状』が届いております。
- 『ザ・ロータリアン誌』が届いております。
- 社会福祉協議会より『第3回評議員会資料』が届いております。

氏 名 萩田 俊一
勤務先 (株)ドクター製作所
所在地 藤枝市岡部町内谷760-1
役職名 代表取締役
委員会 クラブ管理運営
テーブルメイト Dグループ

出席報告

石割 郁子君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
29 / 41 70.73%	31 / 40 77.5%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池谷君 ○後藤君 ○杉山君 ○春原君
○竹田君 ○渡辺君 板倉君 落合君 鈴木舜君
仲田晃君 水野君 望月志君

(2)メイクアップ者

鈴木 勝弘君(静岡)

■ ビジター

浜崎 貢君（静岡）

■ スマイルBOX 鈴木 勝弘君

- 誕生祝ありがとうございます。満70才になりました。これからは若さを保つ為に運動は続けて行きます。鈴木 廣利君
- 家内の誕生祝ありがとう！！昭和7年生まれは何才になったのかな？ 櫻井 龍太君
- 家内の誕生日祝をありがとうございます。柳原 寿男君
- 皆勤賞の記念品有り難うございました。最近物忘れがひどくお礼が遅れてしまいました。丁度23年前の今日入会して以来皆勤が続いています。もう少し頑張ってみようかと思っています。青島 克郎君

スマイル累計額 526,000円

■ 財団奨学生卓話

財団留学生

山静学友会

中野 佐知子様



〔プロフィール〕

ロンドン大学演劇学科卒業

2002～03年度RC国際親善奨学生として米国『C I I S・カリフォルニア総合学研究所』にて「ドラマセラピー修士号」取得

2005年より静岡でNPO団体、養護施設、病院、大学等でドラマセラピーを紹介する活動

静岡県立大学カウンセラー

常葉学園短期大学非常勤講師

NPO法人こころのケアグループ副理事

ドラマセラピーとは

ドラマセラピーとは簡単にいえば演劇のエクササイズ、劇創造やその過程、手法、演劇という社会的・交流的な活動を心理療法に取り入れたものです。しかし演劇経験は全く要りませんし、セリ

フなどを覚える必要もありません。

演劇というと身構えてしまう方が多いと思いますが日頃様々な「役割」を持って生きている私たちの人生はまさにドラマであり、子供のころから自然に行っているとても身近な療法だと思います。

ドラマセラピーを「遊び」「想像力・創造性」「役割」をキーワードで説明したいと思います。

「遊び」

子供たちはごっこ遊びなどを通して、自らの心の不安や葛藤を表現し、問題解決能力を育てていたり、人との関係のとり方を学ぶといわれます。つまり遊びは人間が持つ心を整理する能力なのです。ドラマセラピーにはこの様な遊びの要素が含まれており、緊張感をほぐし、安心して周りと関わることができる環境を作り上げます。

頭で考えるだけでなく、実際に動き、心を表現することができるドラマセラピーは、テレビゲームなどに慣れてしまった子供たちにとって、心・体・頭の総合的な体験をするいい機会になるでしょう。

「想像力・創造性」

ドラマの世界は創造の世界です。

想像力は人が相手を思いやる上では非常に大切なものですが、最近では想像力が乏しい子供が増えていると言われています。

ドラマの中では、参加者それぞれの創造する力を引き出してゆき、さらにはその創造から何かを創り上げる力も引き出していきます。

ここでは正解も不正解もなく、それぞれが創り出す力を楽しみながら伸ばすことができます。

自らが創り上げる想像の世界を楽しむことは、個人を感受性豊かな人間に育てることに繋がります。

ドラマでは自分だけが想像の世界に没頭するのではなく、相手と共有することで相手の想像・創造を推し量ったり、様々な状況に適應する能力が自然とついてきます。

それはドラマという場所が「現実ではない」ところだからです。「これは本当のことではない、嘘のことだ」と安心して出せるようになります。

「役割」

私たちは普段、周囲や社会から与えられる様々な

役割に縛られているものです。その役に縛られてしまうと思いを表現することがなかなかできません。ドラマセラピーでは、様々な設定で様々な役割を演じます。いろいろな役割を演じることで普段は抑えていた感情や、今まで気づかなかった新たな自分が思いがけず現れてくることがあります。自分ではない役を演じたことで新たな自分を発見していく事が出来るのです。様々な役割を演じることにより、自己の幅が広がり、客観的に自己を見つめる力もつき、相手の気持ちを推し量ることもできるようになります。

ドラマセラピーの可能性

アメリカでは学校、医療施設、児童施設その他様々なところで利用されています。

また自己の可能性を広げるという点でも、個人の自己成長に役立っています。

今後、教育現場や企業の中においても大いに役立てられるものと思います。

(担当 / 石割)